

ROBOT ID × Streamline SSO 設定

操作マニュアル

2023 年 9 月 29 日

ブルーテック株式会社

目次

■1 ROBOT ID と Streamline の SSO 連携の流れ.....	1
■2 ROBOT ID の設定.....	2
2-1 カスタム属性を作成する.....	2
2-2 カスタム属性を設定する.....	2
2-3 SAML 設定を行う.....	4
2-4 証明書のダウンロードを行う.....	6
■3 Streamline の設定.....	8
3-1 SSO 設定を依頼する.....	8

※ご利用ブラウザ、端末のバージョン等により表示画面が異なる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

■ 1 ROBOT ID と Streamline の SSO 連携の流れ

ROBOT ID のシングルサインオン（以下、SSO）を利用して他システムと連携するためには、「カスタム属性」「SAML 設定」「セキュリティルール」「アカウント」の設定が必要です。本書では「カスタム属性」の作成手順と Streamline と連携する際の「SAML 設定」の設定値についてご案内いたします。

他の設定につきましては、操作マニュアル「ROBOT ID」をご参照ください。

本設定は ROBOT ID の管理者権限アカウントからのみ設定可能です。

STEP1 ROBOT ID 側でカスタム属性を作成する



STEP2 ROBOT ID 側で SSO 設定を行う



STEP3 ROBOT ID 側で証明書をダウンロードする



STEP4 Streamline 担当者へ必要な情報を送付し、Streamline 側の設定を依頼する

ROBOT ID と Streamline の連携を設定するには、SSO がご利用可能な Streamline のご契約が必要です。

また、Streamline に別途ご利用ユーザーのアカウント登録が必要です。

ただし、Just In Time（以下、JIT）プロビジョニング^{*1}を使用する場合は、アカウント登録不要です。

***1** JIT プロビジョニングを使用すると、ROBOT ID から連携先 SP に SSO ログインするタイミングで SP 側にアカウントを作成・更新することができます。

JIT プロビジョニングのご使用は、連携先 SP で JIT プロビジョニングに対応している必要があります。

■ 2 ROBOT ID の設定

ROBOT ID にてカスタム属性の作成、Streamline 用の SAML 設定および証明書のダウンロードを行います。設定は ROBOT ID の管理者権限アカウントからのみ実施可能です。

詳しい設定方法につきましては操作マニュアル「ROBOT ID」も併せてご参照ください。

2-1 カスタム属性を作成する

SAML 設定の「名前識別子の値」(SAMLResponse の NameID) に設定するカスタム属性を作成します。

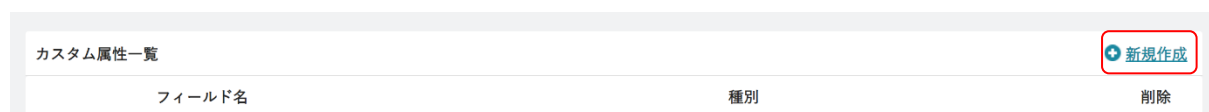
POINT

Streamline の場合、「名前識別子の値」(SAMLResponse の NameID) には Streamline のユーザーID を設定します。値の設定は各アカウントで行います。

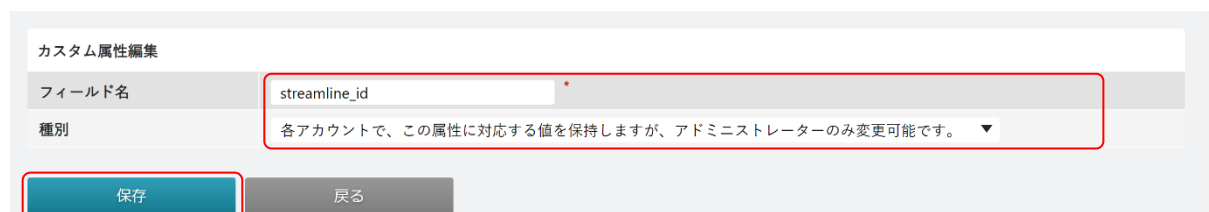
Streamline のユーザーID 用項目が作成済みの場合は、新規作成する必要はございません。



1. [カスタム属性] タブをクリックします。



2. 「新規作成」をクリックします。



3. 項目を設定し、[保存] をクリックします。

POINT

セキュリティ上、種別は「各アカウントで、この属性に対応する値を保持しますが、アドミニストレータのみ変更可能です。」を選択し、設定値をアドミニストレータで管理することを推奨します。

2-2 カスタム属性を設定する

Streamline との連携用に作成したカスタム属性の値を設定します。

ここでは種別を「各アカウントで、この属性に対応する値を保持しますが、アドミニストレータのみ変更可能です。」とした場合の手順をご案内します。他の種別を選択した場合は操作マニュアル「ROBOT ID」をご参照ください。



1. 「アカウント」タブをクリックします。

アカウント一覧 新規作成 招待

検索

ログインID	名前	メールアドレス	セキュリティルール	パスワード再発行	削除	アカウントロック
b0000@example.com	前園 清治	b0000@example.com	役員用			
b0001@example.com	高宮 ひろ	b0001@example.com	役員用	再発行	削除	オープン中
b0006@example.com	宮崎 貴生	b0006@example.com	営業部	再発行	削除	オープン中

2. 設定するアカウントのログイン ID をクリックします。

アカウント詳細 編集

ログインID	b0000@example.com
名前	前園 清治
名前 (カナ)	マエゾノ キヨハル
利用許可スマートフォン端末	設定

カスタム属性 編集

生年月日	
streamline_id	

Web Authentication 登録 編集

有効	名前	識別名	登録時のデバイス	最終使用日時	IPアドレス制限の対象	本人性確認を実施	削除

[戻る](#) [戻る](#)

3. 「編集」をクリックします。

アカウント編集

ログインID	b0000@example.com *		
名前	姓 前園 *	名 清治 *	ミドルネーム
名前 (カナ)	セイ マエゾノ	メイ キヨハル	ミドルネーム
メールアドレス	b0000@example.com *		
通知用メールアドレス	b0000@example.com *		
タイムゾーン	Asia/Tokyo, 日本標準時 ▼		
権限	アドミニストレーター ▼		
セキュリティルール	役員用 ▼		
会社電話番号	0300000000		
携帯電話番号			
内線			
事業部			
部門			
役職			
社員ID			

カスタム属性	
生年月日	19750101
streamline_id	*****

保存 戻る

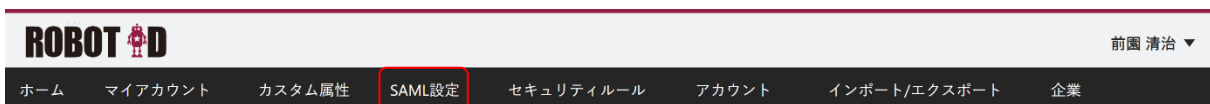
4. 項目を設定し、[保存] をクリックします。

2-3 SAML 設定を行う

POINT

SAML 設定の以下の項目の値は、Streamline 担当者に連絡して取得してください。

- ・ 開始 URL
- ・ エンティティ ID
- ・ ACS URL



1. [SAML 設定] タブをクリックします。

SAML設定一覧						+ 新規作成
有効	名前	ACS URL	SSO利用時のURL	証明書の有効期限	削除	

2. 「新規作成」をクリックします。

ROBOT ID × Streamline SSO 設定

SAML設定編集

名前	<input type="text" value="Streamline"/>
現在の画像イメージ	
画像アップロード	<input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません
接続識別子	<input type="text" value="streamline"/>
有効	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
IdP initiated SSO	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF
開始URL	<input type="text" value="https://*****"/>
エンティティ ID	<input type="text" value="https://*****"/>
ACS URL	<input type="text" value="https://*****"/>
SAMLレスポンスに証明書を含める	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
署名対象のノード	<input type="text" value="Assertion"/>
署名方式	<input type="text" value="RSA_SHA512"/>
ダイジェスト方式	<input type="text" value="SHA512"/>
名前識別子の書式	<input type="text" value="Unspecified"/>
名前識別子の値	<input type="text" value="streamline_id"/>
現在のSAMLログイン時表示画像イメージ	
SAMLログイン時表示画像アップロード	<input type="button" value="ファイルを選択"/> 選択されていません

属性マッピング + 設定欄追加

属性名	属性値	削除
-----	-----	----

3. 以下の情報を設定し、[保存] をクリックします。

以下の項目は Streamline との連携において必須となる項目です。

名前：連携するシステムの名称など、任意の名前を入力します。

接続識別子：半角英数字で最大 30 文字の任意の文字列を入力します。ここで設定した文字列が「SSO 利用時の URL」に設定されます。

有効：ラジオボタン「ON」を選択します。

IdP initiated SSO：ラジオボタン「OFF」を選択します。

開始 URL：Streamline 担当者より取得した情報を入力します。

エンティティ ID：Streamline 担当者より取得した情報を入力します。

ACS URL：Streamline 担当者より取得した情報を入力します。

SAML レスポンスに証明書を含める：ラジオボタン「ON」を選択します。

署名対象のノード：「Assertion」を選択します。

署名方式：「RSA_SHA512」を選択します。

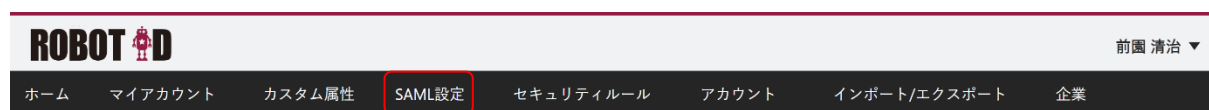
ダイジェスト方式：「SHA512」を選択します。

名前識別子の署名：「Unspecified」を選択します。

名前識別子の値：[カスタム属性] で作成した項目を選択します。

カスタム属性については本章「ROBOT ID の設定」の「カスタム属性を作成する」をご参照ください。

2-4 証明書のダウンロードを行う



1. 「SAML 設定」 タブをクリックします。

The screenshot shows a table titled 'SAML設定一覧' (SAML Settings Overview). The table has columns for '有効' (Valid), '名前' (Name), 'ACS URL', 'SSO利用時のURL' (SSO URL), '証明書の有効期限' (Certificate Validity), and '削除' (Delete). The 'Streamline' entry is highlighted with a red box.

有効	名前	ACS URL	SSO利用時のURL	証明書の有効期限	削除
ON	Streamline	https://***** *****	https://robotid.jp/idaas/f/saml2/ *****/streamline	2025/09/22	削除

2. 前項「SAML 設定を行う」で作成した SAML 設定の名前をクリックします。

The screenshot shows the 'SAML設定詳細' (SAML Settings Detail) page for the 'Streamline' entry. The '証明書のダウンロード' (Download Certificate) section is highlighted with a red box, showing two options: 'Base 64 encoded X.509 (.cer) 形式' and 'メタデータ形式'. The '有効' (Valid) section shows 'ON' selected. The '再発行' (Re-issue) link is also visible.

3. 「証明書のダウンロード」欄にある「Base 64 encoded X.509 (.cer) 形式」をクリックしてダウンロードします。

ダウンロードした証明書ファイルは次項「Streamline の設定」の「SSO 設定を依頼する」で利用します。

POINT

証明書の有効期限が過ぎている場合は「再発行」をクリックしてから証明書をダウンロードしてください。

This close-up screenshot shows the '証明書のダウンロード' (Download Certificate) section. The 'Base 64 encoded X.509 (.cer) 形式' link is highlighted with a red box. Below it, the '証明書の有効期限' (Certificate Validity) is shown as '2025/09/22' with a '再発行' (Re-issue) link next to it, also highlighted with a red box.

ROBOT ID × Streamline SSO 設定

POINT

「SSO 利用時の URL」に記載されている URL は、次項「Streamline の設定」の「SSO 設定を依頼する」で利用します。

SAML設定一覧 + 新規作成					
有効	名前	ACS URL	SSO利用時のURL	証明書の有効期限	削除
ON	Streamline	https://***** *****	https://robotid.jp/idaas/f/saml2/ *****/streamline	2025/09/22	削除

■ 3 Streamline の設定

Streamline 担当者に Streamline 側の SSO 設定を依頼します。

3-1 SSO 設定を依頼する

Streamline の SSO 設定に必要な情報を Streamline 担当者へ連絡し、設定を依頼します。

Streamline 担当者へ連絡すべき情報は以下となります。

※連絡する情報が変わる可能性がありますので、事前に Streamline 担当者にご確認ください。

- ・ Login URL : ROBOT ID に表示されている「SSO 利用時の URL」を連絡します。詳しくは第 2 章「ROBOT ID の設定」の「証明書のダウンロードを行う」をご参照ください。
- ・ Certificate (証明書) : ROBOT ID でダウンロードした証明書ファイルを送付します。証明書のダウンロードについては第 2 章「ROBOT ID の設定」の「証明書のダウンロードを行う」をご参照ください。